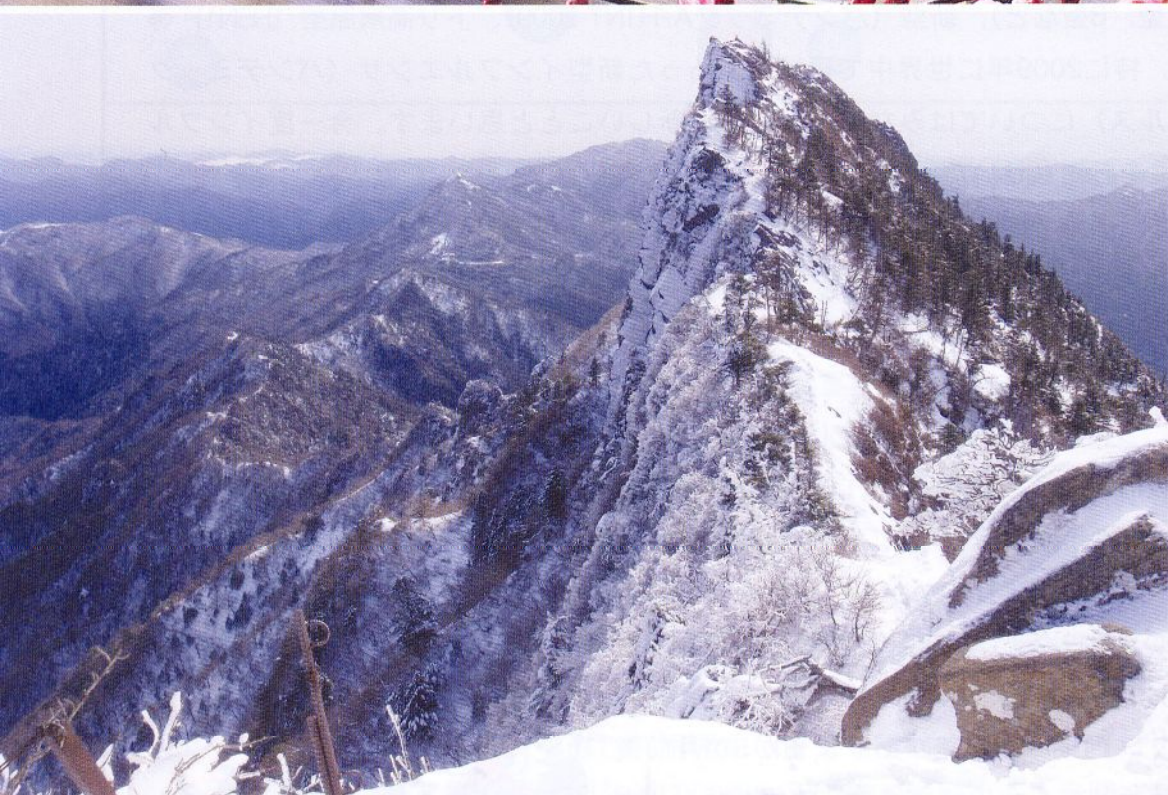


ふれあい せいせい



発行
済生会西条病院
2012年 新春号 第54号
西条市朝日市269-51
TEL(0897)55-5100



厳冬の石鎚山頂にて、天狗岳を望む

撮影:ペンネーム『カイニーサルサ』さん

ごあいさつ

院長 岡田 眞一

病気のお話 ◆インフルエンザ◆

内科医師 星加 輝久

お薬のお話

薬局 吉井 翠

循環器科 ◆インターネットライブ◆

医療情報管理室 広報 神原 勝己

いしづち苑 文化祭

いしづち苑介護福祉士 松村 紀典

いしづち苑 初詣

いしづち苑介護福祉士 岡田真奈美

ニューフェイス



ごあいさつ

院長 岡田 眞一



院長
岡田 眞一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災と津波による原発事故、そして台風による被害と暗い一年でした。被災地の早期復興と、今年は災害のない良い年であるようにと願っています。私たちは自然の力に勝つことはできませんが、これまでの経験を生かして、適切な対応をしていかなければなりません。ちょうど、このような年に済生会は創立100周年を迎えました。医療に困っている人々に対して、済生会の力を発揮していくようにと再認識をさせられた年であったと思います。

さて、病院内については、昨年7月から念願であった7：1看護体制をとることができました。そして、9月から循環器科常勤医師の確保、11月には愛媛県がん診療連携推進病院の指定を受けることができました。これからは、きめこまかいがん診療と循環器の急性期疾患に対応できるようになり、当院の急性期病院としての機能が発揮できると思います。

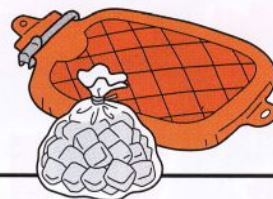
今、世界の政治経済は不安定で混沌としております。日本の経済状況も苦しく、確実に伸びる社会保障費のため、税制改正の議論の中で消費税増税案が進行しています。日本の経済状態からすると消費税増税は仕方がないと思いますが、薬など医療分野での消費税増税については十分な議論がされるように期待します。

また、今年4月からの診療報酬改定は全体で0.004%引き上げられることになりましたが、この程度の改定では地域医療の改善は期待できません。まだまだ医療界は厳しいと予想されます。みなさま、どうかご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

病気のお話

インフルエンザ

内科医師 星加 輝久



今シーズンもインフルエンザの流行する季節となりました。インフルエンザには従来の季節型（A香港型、Aソ連型、B型など）、新型（パンデミックA/H1N1 2009）、トリ高病原型（H5N1）等が知られています。特に2009年に世界中で猛威を振るった新型インフルエンザ（パンデミックA/H1N1 2009ウイルス）についてはみなさんも記憶に新しいことと思います。今一度インフルエンザの特徴と対策をお知らせいたします。

インフルエンザは、感染者の咳やくしゃみから気道に入る飛沫感染、ウイルスのついた手から口に入る接触感染が原因でうつります。日中の気温が10℃を下回ると流行するともいわれています。したがって予防にはマスク装着や手洗いが有効です。マスク装着は、感染予防だけでなく、感染者が感染拡大させるのを防ぐうえでも重要です。手洗いは1分以上、流水で水洗することが必要です。うがいについては1日数回程度ではインフルエンザの予防効果は乏しいですが、のどの乾燥をふせぎ呼吸器感染症予防に効果的であると示唆されています。

なによりも最も確実な予防は流行前にワクチン接種を受けることです。ワクチン接種することでインフルエンザへの感染（決してかからないわけではありません）、または重症化の予防となります。インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまで約2週間かかります。毎年、12月から3月に流行するため、11月下旬までに接種を終えると効果的です。効果は個人差がありますが5か月前後続きます。また、流行してからの接種は、抗体価が十分上がる（免疫がつく）前に感染する危険性がありますが、抗体価が上昇していれば症状が軽くなります。特に、心臓や肺に慢性の病気を持っている方、基礎疾患のある方、高齢者の方などは毎年接種してください。



インフルエンザの症状としての一般的な特徴は、①地域での流行 ②急激な発症 ③38度以上の高熱 です。前触れとしての鼻水や咳、くしゃみなどが続くことなく急に高熱がみられた場合には早期に医療機関を受診してください。ただし、インフルエンザ簡易検査キットは発症後12時間程度経過しなければ陽性とならないことをご承知ください。また、病院には免疫力の低下した方を含めさまざまな疾患の患者がおられます。できるだけ感染を拡大させないためにもインフルエンザの疑いで医療機関を受診される場合には、診療所・医院を受診していただきますよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

現在、数種類のインフルエンザ治療薬がありますが、いずれも発症から48時間以内に治療開始しなければ十分な効果は期待できません。また、効果的な治療には薬の用法・用量・内服期間を守る事が重要です。



平成23年12月までの統計によると今シーズンはA香港型が今のところ流行の兆しをみせています。詳細は感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照してください。



インフルエンザ治療薬のお話

現在一般に外来処方されているインフルエンザ治療薬は、3種類あります。

タミフル	成人はカプセル、小児は粉薬（体重により量が変わります）で、1日2回、5日間内服する薬です。
リレンザ	成人、小児ともに、1日2回、5日間吸入する薬です。吸入のおこなえる5歳以上が適応です。 ※タミフルとリレンザは、使用開始3日目で解熱することが多いのですが、その時点ではウイルスは依然鼻腔などに存在しています。感染拡大を防ぐために、症状が改善した後も、処方通り5日間使用してください。

イナビル	<p>昨シーズン発売された国産の吸入する薬です。一度の吸入で治療が完結するため、服薬忘れや、患者の自己判断による服薬中止などの心配がありません。効果は一度の吸入でタミフル5日間服用と同等です。</p> <p>実際の使用は、医師や薬剤師など医療従事者が説明を行いながら吸入するため、失敗がなく確実です。しかし、小児や高齢者で吸入力の弱い方や理解の乏しい方などの使用は、難しいと考えられ適応がありません。また吸入後、直ちに症状が治まるものでもありません。</p>	
------	---	--

薬について不明な点がございましたら医師・薬剤師にご相談ください。



心臓カテーテル治療の インターネット映像中継を行いました

医療情報管理室 広報 神原 勝己

『日進月歩』という言葉が意味をなさないほど目まぐるしく変化していく社会。医療の世界でも変化は早く、特に心臓血管外科の世界ではカテーテルによる血管の治療が大きく進歩しています。

カテーテルと呼ばれる細い管を患者さんの血管に挿入し、血管内を検査・治療する。当院でも11月1日に循環器科としては県内初となる、2方向血管造影撮影装置が稼働を始め、高度な血管内治療が可能になりました。また、血管造影装置の工事に併せ、監視用のカメラを天井2ヶ所に設置。治療・検査の様子をリアルタイムで院内の講堂まで映像中継できるシステムも整備しました。今回はこのシステムを利用し、講堂からインターネット経由で映像中継を行いました。

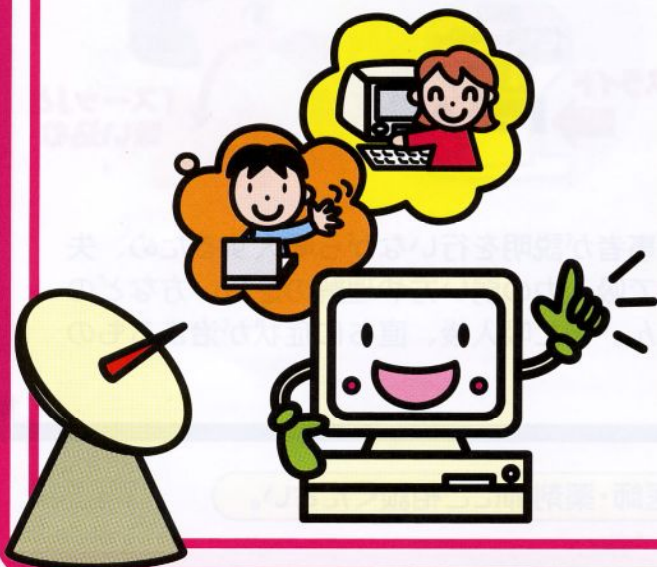
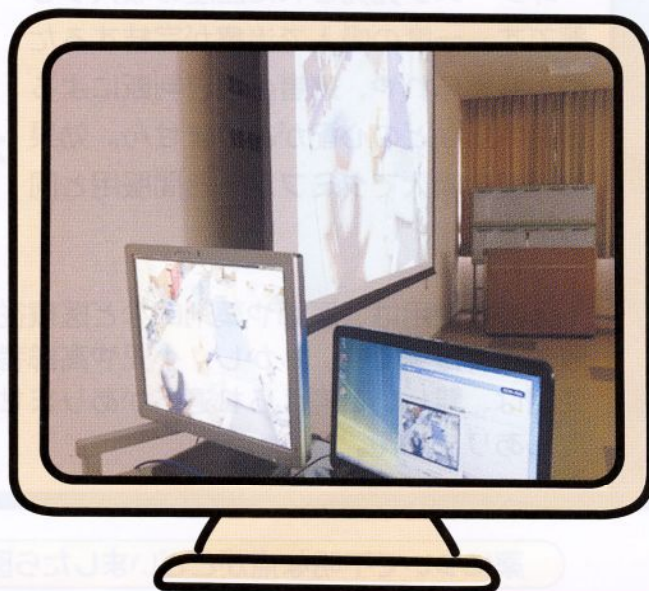
治療・検査の映像中継は近隣の医療機関でも前例がなく、また、患者さんのプライバシーの保護やコンプライアンスの遵守、技術的な方法・運用方法のほとんどをゼロから考えなくてはなりません。技術的な手段・方法は医療情報管理室で研究・開発できましたが、患者さんへの承諾書の整備、保健所への確認等、事務長さん・総務課長さんのアドバイス・協力を頂きながら、プロジェクト開始から1ヵ月半で中継に辿り着きました。

中継当日、申し込みのあった医療機関にのみ視聴パスワードをお知らせする方法で、30名近い医療関係者の視聴申し込みを頂きました。

当日は午後から講演会も中継され、高輪メディカルクリニック 循環器科 久保一郎先生と、武蔵野赤十字病院 循環器科副部長 山内康照先生による、カテーテル治療の最新情報を、講堂とインターネットで参加者に聴講頂きました。

治療・検査のインターネット中継は愛媛県内、四国内でもあまり耳にすることがなく、それだけにパイオニアとしての苦労もありましたが、中継後、ご視聴いただいた医療機関から『治療の熱気が伝わってきた』『もっといろんな検査の様子を見たい』といったご感想も頂きました。当院まで出張せずとも、日本中どこからでも手元のパソコンで講演参加や見学が可能になります。

今後は映像中継を通して多くの医療機関と関係を密にし、地域の皆さんがより一層、良質な医療が受けられるよう励んで行きたいです。



いしづち苑のお餅つき

いしづち苑 介護福祉士 松村 紀典

12月28日 水曜日、いしづち苑でお餅つきを行いました。
 今回のお餅つきには西条警察署と西条農業高校のボランティア(C. A. P)、
 西条地区防犯協会員の皆さんが力を貸してくださいました。

お餅つきの前に高校生からのメッセージ付きの花のプレゼントと警察署員の方たちによる『振り込め詐欺被害防止』の寸劇がありました。笑いも交えた寸劇の内容にデイケアの利用者さんも笑ったり真剣だったり表情を変えながら見入っていたようです。

初めは緊張した表情でついていたお餅つきも、つきあがった餅を石臼から運び出す際に滑って落としそうになるなど、会場全体がヒヤリとするハプニングもあり、次第に笑みがこぼれ、笑顔いっぱいのにぎやかなお餅つきとなりました。

2011年の締めくくり
 に介護保健施設として地域
 とのつながりを感じるこ
 のできる行事が執り行えた
 と思います。



いしづち苑の初詣

いしづち苑 介護福祉士 岡田 真奈美

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

さて1月7日、いしづち苑恒例の初詣を開催いたしました。参加者は、最高齢103歳の方を始め、50名の入所者の皆さんです。いしづち苑神社の鳥居をくぐり、何度も鈴を鳴らし参拝されました。その後、皆でお神酒を召し上がりほろ酔い気分。職員手作りの絵馬を手に笑顔で記念撮影。その後は男性職員による獅子舞。参加者の皆さんの大きな手拍子に元気を貰い獅子も大喜びでした。

いよいよ最後は、巫女さんの登場。長寿を願ひ厳かに新春の舞を披露。笑顔で一年のスタートをきる事が出来ました。今年もいい年がありますように・・・



無料低額診療事業

❖ 無料低額診療事業とは？

当院では、社会福祉法第2条第3項9号に規定する第2種社会福祉事業として、無料低額診療事業を実施しています。

経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されないよう、無料または低額な料金で診療を行う事業です。

無料低額診療事業は老人保健施設いしづち苑も実施しています。

❖ 対象となる医療費は？

当院での診療費に限ります。他院での診療費や、個室利用を希望された場合の室料差額等は対象になりません。

❖ 利用手続きは？

医療ソーシャルワーカーが事情をお聞きし、無料低額診療の利用が可能と判断される場合には、所定の手続きを経て、適用されることになります。

まずはお気軽に
ご相談ください



お問い合わせ

済生会西条病院

TEL 0897 (55) 5100 (内線243) FAX 0897 (55) 6766

社会福祉課 医療ソーシャルワーカー ※お問い合わせは外来診療時間内をお願いします。

老人保健施設いしづち苑 支援相談員 TEL0897 (53) 1155